広陵町子ども・子育て支援事業計画【第３期】と実績（令和７年度）の比較について

１　幼児期の教育・保育事業

量の見込みと確保内容

（１）１号認定（認定こども園及び幼稚園）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	344 人	329 人	321 人	297 人	293 人
②実績（見込み）	360 人	人	人	人	人
②-①（計画との乖離）	16 人	人	人	人	人
③確保の内容	807 人	495 人	321 人	315 人	315 人
③－②（過不足）	447 人	人	人	人	人

【実施状況】

共働き世帯の増加により、１号認定に比べ２号認定を選択されるケースが増加しています。預かり保育の周知等により、１号認定利用の利便性を周知するとともに、本計画及び幼保一体化総合計画を踏まえ、こども園化など、適切な施設配置を推進していきます。

（２）２号認定（認定こども園及び保育園）

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み（必要利用定員総数）		632 人	613 人	607 人	570 人	571 人
	他市町村の子ども	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
②実績（見込み）		647 人	人	人	人	人
	他市町村の子ども	16 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）		15 人	人	人	人	人
③確保内容	保育園、認定こども園	636 人	632 人	626 人	626 人	626 人
	他市町村の施設	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
③－②（過不足）		△11 人	人	人	人	人

【実施状況】

町内各地における住宅開発等により、当初の見込みを上回る実績がありました。今後も、本計画及び幼保一体化総合計画を踏まえ、量の見込みを充足するため、適切な施設配置を推進していきます。

（３）３号認定（認定こども園、保育園及び地域型保育）

2歳児			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み（必要利用定員総数）			179 人	180 人	179 人	178 人	176 人
	他市町村の子ども		1 人	1 人	1 人	1 人	1 人
②実績（見込み）			182 人	人	人	人	人
	他市町村の子ども		1 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）			3 人	人	人	人	人
③確保内容	保育園、認定こども園、地域型保育事業		169 人	169 人	169 人	169 人	169 人
		他市町村の施設	5 人	2 人	0 人	0 人	0 人
③－②（過不足）			△13 人	人	人	人	人

1歳児			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み（必要利用定員総数）			135 人	135 人	134 人	133 人	132 人
	他市町村の子ども		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
②実績（見込み）			136 人	人	人	人	人
	他市町村の子ども		3 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）			△1 人	人	人	人	人
②確保内容	保育園、認定こども園、地域型保育事業		123 人	125 人	127 人	127 人	127 人
		他市町村の施設	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
③－②（過不足）			△13 人	人	人	人	人

0歳児			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み（必要利用定員総数）			65 人	65 人	65 人	64 人	64 人
	他市町村の子ども		0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
②実績（見込み）			71 人	人	人	人	人
	他市町村の子ども		0 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）			6 人	人	人	人	人
③確保内容	保育園、認定こども園、地域型保育事業		59 人	59 人	63 人	63 人	63 人
		他市町村の施設	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
③－②（過不足）			△12 人	人	人	人	人

【実施状況】

0・１・2 歳児で、確保の内容を上回っており、いずれも町外施設への委託に頼る結果となりました。1・2 号認定同様、今後は、本計画及び幼保一体化総合計画を踏まえ、適切な施設配置を推進していきます。

２　利用者支援事業

事業内容

利用者支援事業は、教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用について情報収集と提供を行うとともに、子どもまたは保護者の相談に応じ、必要な情報提供・助言をし、関係機関との調整を行う事業です。事業形態は以下の４種類があります。

事業形態
・基本型（独立した事業として行われている形態） ・特定型（行政の一環として行われる側面が強い形態） ・こども家庭センター型（保健師や子ども家庭支援員等の専門職により行われる形態） ・妊婦等包括相談支援事業型（助産師等の専門職により保健センター等において行われる形態）

量の見込みと確保内容

利用者支援に関する事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	１か所	１か所	１か所	１か所	１か所
基本型・特定型	１か所	１か所	１か所	１か所	１か所
こども家庭センター型	１か所	１か所	１か所	１か所	１か所
妊婦等包括相談支援事業型	１か所	１か所	１か所	１か所	１か所
②実績（見込み）	１か所	か所	か所	か所	か所
基本型・特定型	１か所	か所	か所	か所	か所
こども家庭センター型	１か所	か所	か所	か所	か所
妊婦等包括相談支援事業型	１か所	か所	か所	か所	か所
②－①（計画との乖離）	０か所	か所	か所	か所	か所
③確保内容	１か所	１か所	１か所	１か所	１か所
③－②（過不足）	０か所	か所	か所	か所	か所

【実施状況】

令和７年度からは、就学前と就学後により分かれていた担当課をさわやかホール２階の１フロアに集約した「広陵町こども家庭センター」において、従来の利用者支援事業に加え、主に妊婦やその配偶者等に対して面談等による相談に応じる「妊婦等包括相談支援事業型」を行い、妊娠期からのより切れ目のない相談支援を実施することができました。

今後も、ニーズに合った各種子育て支援サービスの情報提供を行い、必要に応じて関係機関と連携し、専門スタッフによるきめ細かい対応を行いながら、適切な支援につなげていきます。

３　時間外保育事業（延長保育事業）

事業内容

時間外保育事業は、保育認定を受けた児童について、保護者の就労時間等により、保育園等における 11 時間の開所時間を超えて、保育時間を延長する事業です。

量の見込みと確保内容

時間外保育事業（延長保育事業）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	347 人	339 人	335 人	320 人	318 人
②実績（見込み）	1777 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）	1430 人	人	人	人	人
③確保内容	347 人 9 か所	339 人 8か所	335 人 8か所	320 人 8か所	318 人 8か所
③－②（過不足）	△1430 人	人	人	人	人

【実施状況】

本町では、勤務時間や通勤時間の都合で開所時間（11 時間保育）を超えて保育が必要な世帯を対象に、すべての保育園と認定こども園で時間外保育を実施しています。

令和７年度の実績は、量の見込みを大幅に上回る結果となりました。

引き続き、保護者ニーズの把握に努め、時間外保育事業を継続していきます。

４　放課後児童健全育成事業（放課後子ども育成教室）

事業内容

放課後児童健全育成事業は、保護者の就労等により、放課後家庭において適切な監護が受けられない児童を対象として、仲間づくりや活動や遊びを通して、たくましい体や心を育てること等を目的に実施しています。本町においては、放課後子ども育成教室として小学校に在籍するすべての児童を対象に、放課後や学校休業日に安全・安心な子どもの居場所を提供し、子どもの健全な育成を行っています。

量の見込みと確保内容

放課後児童健全育成事業（放課後子ども育成教室）

		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み		784 人	816 人	841 人	904 人	915 人
	1年生	219 人	227 人	227 人	277 人	245 人
	2年生	186 人	196 人	199 人	195 人	232 人
	3年生	163 人	169 人	176 人	177 人	171 人
	4年生	124 人	124 人	129 人	136 人	137 人
	5年生	56 人	62 人	63 人	66 人	69 人
	6年生	36 人	38 人	47 人	53 人	61 人
②実績（見込み）		855 人	人	人	人	人
	1年生	241 人	人	人	人	人
	2年生	212 人	人	人	人	人
	3年生	193 人	人	人	人	人
	4年生	123 人	人	人	人	人
	5年生	62 人	人	人	人	人
	6年生	24 人	人	人	人	人
②－①（計画との乖離）		71 人	人	人	人	人
	1年生	22 人	人	人	人	人
	2年生	26 人	人	人	人	人
	3年生	30 人	人	人	人	人
	4年生	△1 人	人	人	人	人
	5年生	6 人	人	人	人	人
	6年生	△12 人	人	人	人	人
③確保内容		845 人	826 人	826 人	826 人	826 人
③－②（過不足）		△10 人	人	人	人	人

【実施状況】

令和 7 年度の入会状況は 855 人で、1 年生から 3 年生を中心に入会数が量の見込みを上回る結果となりました。令和 7 年 7 月より、増加傾向にある学校区を対象に、民設民営の放課後児童クラブを 1 か所開設いたしました。また、令和 8 年度にも 1 か所民設民営で開設予定です。今後も受入方法について検討していきます。

５　子育て短期支援事業

事業内容

子育て短期支援事業は、保護者の疾病や仕事等により、児童の養育が一時的に困難になった場合等に児童養護施設などで一時的に児童を預かる事業で、次の２つがあります。

短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）
児童の保護者が、病気や仕事、出産、育児疲れなどで一時的に養育することができなくなった場合や経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合に、児童養護施設等で預かる事業で、７日間を限度に利用できます（宿泊を伴います）。
夜間養育等事業（トワイライトステイ事業）
保護者が仕事等の理由により、平日の夜間または休日に不在となり、養育が困難となった児童を、通所により児童養護施設等で預かる事業です。

量の見込みと確保内容

短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	7 人日	7 人日	7 人日	7 人日	7 人日
②実績（見込み）	24 人日	人日	人日	人日	人日
②－①（計画との乖離）	17 人日	人日	人日	人日	人日
③確保内容	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日	100 人日
③－②（過不足）	76 人日	人日	人日	人日	人日

※人日：人数×日数で年間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 日間利用した場合には 150 人日となる。

夜間養育等事業（トワイライトステイ事業）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	1人日	1人日	1人日	1人日	1人日
②実績（見込み）	5 人日	人日	人日	人日	人日
②－①（計画との乖離）	4 人日	人日	人日	人日	人日
③確保内容	50 人日	50 人日	50 人日	50 人日	50 人日
③－②（過不足）	45 人日	人日	人日	人日	人日

※人日：人数×日数で年間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 日間利用した場合には 150 人日となる。

【実施状況】

従来から懸案であった受入施設不足に対応するため、令和７年度新たな町内の里親と委託契約を行いました。（町内委託里親数：合計２名）

家庭の事情により頻繁に利用されるケースもあり、利用者数は増加していますが、事業の利用と平行して、問題の改善・自立に向けた取り組みを行っていくことが課題です。

６　乳児家庭全戸訪問事業

事業内容

乳児家庭全戸訪問事業は、生後４か月までの乳児のいるすべての家庭〔新生児訪問（生後２か月まで）を含む〕を訪問し、子育て支援情報の提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業です。

量の見込みと確保内容

乳児家庭全戸訪問事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み（訪問件数）	225 件	223 件	220 件	217 件	214 件
②量の見込み（訪問率）	100%	100%	100%	100%	100%
③実績（見込み）（訪問件数）	197 件	件	件	件	件
④実績（見込み）（訪問率）	87.6%	%	%	%	%
③－①（計画との乖離）	△28 件	件	件	件	件
④－②（計画との乖離）	△12.4%	%	%	%	%
⑤確保内容	実施体制：7人（登録助産師数） 実施機関：けんこう推進課				
⑥確保実績	実施体制： 11 人 実施機関： けんこう推進課	実施体制： 実施機関：	実施体制： 実施機関：	実施体制： 実施機関：	実施体制： 実施機関：

【実施状況】

助産師及び保健師が訪問を行い、乳児の発達状況の確認と保護者の育児状況を確認し、助言・指導を行いました。訪問後も継続して支援が必要な方については、引き続き電話や来所にて支援を行いました。

今後も全ての家庭に訪問を実施し、乳児と保護者の状況の把握と個々に応じた助言・指導を行い、安心して子育てができる体制づくりに努めていきます。

７　養育支援訪問事業

事業内容

養育支援訪問事業は、養育支援が特に必要な家庭に対し、適切な養育の実施を確保するため、保健師がその居宅を訪問し、養育に対する指導、助言及び家事の援助等を行う事業です。

量の見込みと確保内容

養育支援訪問事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	24 件	23 件	23 件	22 件	22 件
②実績（見込み）	27 件	件	件	件	件
②－① （計画との乖離）	3 件	件	件	件	件
③確保の内容	24 件	23 件	23 件	22 件	22 件
③－②（過不足）	△3 件	件	件	件	件

【実施状況】

養育が必要な家庭に対して助産師や保健師が訪問を行い、乳児の発達状況の確認と保護者の育児状況を確認し、助言・指導を行いました。継続して支援が必要な対象者については、訪問等適切な手段で必要なフォローを行い、子育てサービス等につなげました。

今後も引き続き、養育支援が必要なケースに訪問を実施していきます。

８　地域子育て支援拠点事業

事業内容

地域子育て支援拠点事業は、主に乳幼児及び保護者を対象に、公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、育児不安などについての相談・指導、子育てサークル等への支援、子育てに関する情報提供、育児講習等の事業を行い、地域の子育て家庭に対する支援を行う事業です。

量の見込みと確保内容

地域子育て支援拠点事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	788 人回	785 人回	776 人回	766 人回	755 人回
②実績（見込み）	982 人回	人回	人回	人回	人回
②－① （計画との乖離）	194 人回	人回	人回	人回	人回
③確保の内容	800 人回 （4か所）	1,166 人回 （5 か所）	1,166 人回 （5 か所）	1,166 人回 （5 か所）	1,166 人回 （5 か所）
③－② （過不足）	△182 人回	人回	人回	人回	人回

※人回：人数×回数で月間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 回利用した場合には 150 人回となる。

【実施状況】

令和７年度も昨年度に引き続き、月１回の講習会や作業療法士による「子育て講座」を開催するとともに、保育コンシェルジュによる「すこやか相談」を実施し、子育て中の保護者が気軽に相談できる場の提供を積極的に行うとともに、必要に応じて「広陵町こども家庭センター」内で情報共有し、支援につなげました。

令和８年度からは、「ときわ広陵こども園」内にも新たな拠点が開設し、町内５か所で拠点を設置します。

今後も、各々特色を生かした子育て環境づくりを、民生・児童委員や子育てボランティアの協力も得ながら実施していきます。

９　一時預かり事業

事業内容

一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象とした預かり保育事業と、満１歳から就学前までの児童を、保護者が疾病、出産及び親族の看護、その他育児疲れなどでリフレッシュしたいときなどにお子さんを一時的に預かる事業です。

量の見込みと確保内容

一時預かり事業

		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	１号認定による利用	12,884 人日	12,427 人日	12,262 人日	11,437 人日	11,399 人日
	２号認定による利用	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日	0 人日
	その他	272 人日	266 人日	262 人日	251 人日	249 人日
②実績（見込み）	１号認定による利用	17971 人日	人日	人日	人日	人日
	２号認定による利用	0 人日	人日	人日	人日	人日
	その他	262 人日	人日	人日	人日	人日
②－①（計画との乖離）	１号認定による利用	5087 人日	人日	人日	人日	人日
	２号認定による利用	0 人日	人日	人日	人日	人日
	その他	△10 人日	人日	人日	人日	人日
③確保内容		18,480 人日（9 か所）	18,480 人日（7か所）	18,480 人日（7か所）	18,480 人日（7か所）	18,480 人日（7か所）
③－②（過不足）		509 人日	人日	人日	人日	人日

※人日：人数×日数で年間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 日間利用した場合には 150 人日となる。

【実施状況】

令和７年度は、認定こども園１号認定児童数が増加したこと等に伴い利用ニーズが増加し、実績値が量の見込みを上回りましたが、確保の内容は下回る結果になりました。

適切な人員配置のもと、今後も、夏休み期間の実施等、子育て家庭のニーズに即した運営を実施していきます。

１０　病児･病後児保育事業

事業内容

病児・病後児保育事業は保護者の子育てと就労等の両立を支援する事業で、「病児保育」は病気または病気回復期にあるため集団保育が困難な児童を医療機関に併設されている病児保育室で預かる事業です。「病後児保育」は、病気回復期にあるため集団保育が困難な児童を保育園等に併設している病後児保育室で預かる事業です。

量の見込みと確保内容

病児･病後児保育事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	388 人日	380 人日	375 人日	359 人日	356 人日
②実績（見込み）	302 人日	人日	人日	人日	人日
②－① （計画との乖離）	△86 人日	人日	人日	人日	人日
③確保の内容	720 人日 （3か所）	720 人日 （3か所）	720 人日 （3か所）	720 人日 （3か所）	720 人日 （3か所）
③－②（過不足）	418 人日 （　か所）	人日 （　か所）	人日 （　か所）	人日 （　か所）	人日 （　か所）

※人日：人数×日数で年間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 日間利用した場合には 150 人日となる。

【実施状況】

現在、病児保育は町外２施設、病後児保育は町内１施設で利用可能です。令和７年度は昨年度に引き続き、量の見込みを下回っており、充足している状況です。

今後も、利用者の利便性向上に向けて取り組んでまいります。

１１　ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

事業内容

ファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助をしてほしい方と、育児の援助をしたい方が会員となり、仕事と育児の両立ができる環境等を整備し、地域の中で子どもたちが健やかに育っていけるよう、会員組織による地域の助けあい活動を進める制度です。

量の見込みと確保内容

ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	28 人日	33 人日	39 人日	46 人日	55 人日
②実績（見込み）	92 人日	人日	人日	人日	人日
②－① （計画との乖離）	64 人日	人日	人日	人日	人日
③確保内容	1,080 人日	1,080 人日	1,080 人日	1,080 人日	1,080 人日
③－② （過不足）	988 人日	人日	人日	人日	人日

※人日：人数×日数で年間の需要量を示す。例えば 15 人が 10 日間利用した場合には 150 人日となる。

【実施状況】

令和８年３月３１日現在で提供会員 31 人、依頼会員 39 人の登録があります。令和７年度は利用ニーズが増加し、実績値が量の見込みを上回りましたが、確保の内容は下回る結果になりました。今後も円滑な相互援助活動が実施できるよう引き続き制度の周知や提供会員向けのスキルアップ講習、及び新規会員の募集等を進めていきます。

１２　妊婦健康診査

事業内容

妊婦健康診査は、安心して妊娠・出産を迎えることができるように、妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図る事業です。

量の見込みと確保内容

妊婦健康診査

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み		226 人 （健診回数） 2,478 回	223 人 （健診回数） 2,445 回	220 人 （健診回数） 2,411 回	217 人 （健診回数） 2,378 回	215 人 （健診回数） 2,356 回
②実績（見込み）		245 人 （健診回数） 2,612 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回
②－① （計画との乖離）		19 人 （健診回数） 134 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回	人 （健診回数） 回
③確保内容	実施場所	県内医療機関に委託して実施を基本とする				
	実施体制					
	検査項目	厚生労働省が示す健診実施基準に準ずる				
	実施時期	通年				
④確保実績	実施場所	県内医療機関に委託して実施				
	実施体制					
	検査項目	厚生労働省が示す健診実施基準に準ずる				
	実施時期	通年				

【実施状況】

引き続き、全ての妊婦に対して、経済的な負担を軽減し、母子共に健康に出産を迎えられるように費用助成を実施しました。受診券の管理を行うことで、規定の健診回数を受診していない等のハイリスクの妊婦を見つけ、支援につなげる事ができました。

今後も継続して事業を実施し、安心して妊娠出産を迎えられるように努めていきます。

１３　子育て世帯訪問支援事業

事業内容

家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とします。

量の見込み

子育て世帯訪問支援事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	0 人	0 人	24 人	24 人	24 人
②実績（見込み）	0 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	0 人	人	人	人	人
③確保内容	0 人	0 人	24 人	24 人	24 人
③－② （過不足）	0 人	人	人	人	人

【実施状況】

本事業は、令和７年度は未実施ですが、児童虐待の未然防止という観点からも、既存の類似事業の精査や他の自治体の取り組みを研究し、実効性のある事業展開を目指していきます。

１４　児童育成支援拠点事業

事業内容

養育環境に課題を抱える、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行う事業です。今後、サービス提供を含めた事業内容を検討していきます。

【実施状況】

令和７年度は未実施でした。引き続き、本事業の必要性を見極めながら、検討していきます。

１５　親子関係形成支援事業

事業内容

子どもとの関わり方や子育てに悩みや不安を抱えている保護者及びその児童に対し、講義やグループワーク、ロールプレイ等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた情報の提供、相談及び助言を実施するとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士が相互に悩みや不安を相談・共有し、情報の交換ができる場を設ける等その他の必要な支援を行うことにより、親子間における適切な関係性の構築を図ります。今後、サービス提供を含めた事業内容を検討していきます。

【実施状況】

令和７年度は未実施でした。引き続き、本事業の必要性を見極めながら、検討していきます。

１６　妊婦等包括相談支援事業

事業内容

妊娠期の負担の軽減のため、妊婦のための支援給付と本事業を効果的に組み合わせることで総合的な支援を行います。本事業は、（１）利用者支援事業の「妊婦等包括相談支援事業型」に位置づけ、こども家庭センターにて実施します。

量の見込み

妊婦等包括相談支援事業

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	220 人	220 人	220 人	220 人	220 人
②実績（見込み）	240 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	20 人	人	人	人	人

【実施状況】

妊娠届出時数保健師及び助産師が、全ての妊婦及びその配偶者等に対して面談等を行い、妊娠・出産に関すること、健康状態や生活環境など聞き取りを行いました。全員に妊娠中の過ごし方や各種サービスを子育てプランを通じて説明し、必要に応じて各種支援につなげました。

１７　乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

事業内容

令和８年度からの新規事業になります。月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付で、0～3 歳未満の児童を対象としています。アンケート調査により、利用が想定される件数を見込んでいます。対象施設の確保を含めサービス提供体制の確保に努めます。

量の見込み

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	0 人	9 人	9 人	9 人	9 人
②実績（見込み）	0 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	0 人	人	人	人	人
③確保内容	0 人	9 人	9 人	9 人	9 人
③－② （過不足）	0 人	人	人	人	人

【実施状況】

令和８年度より開始するため、令和７年度は実施しておりません。令和８年度以降はニーズに応じられるよう施設と連係し、人数の確保に取り組んでまいります。

１８　産後ケア事業

事業内容

退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援を行います。実施方法は、宿泊により休養の機会を提供する「宿泊型」、施設において日中、来所した利用者に実施する「デイサービス型」、担当者が利用者の自宅に赴く「アウトリーチ型」があります。

量の見込み

宿泊型

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	13 人	13 人	13 人	13 人	13 人
②実績（見込み）	延べ 5 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	△8 人	人	人	人	人

量の見込み

デイサービス型

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	85 人	85 人	85 人	85 人	85 人
②実績（見込み）	延べ 39 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	△46 人	人	人	人	人

量の見込み

アウトリーチ型

	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度
①量の見込み	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人
②実績（見込み）	延べ 3 人	人	人	人	人
②－① （計画との乖離）	0 人	人	人	人	人

【実施状況】

産後ケア事業は、妊娠届出時に全妊婦に事業説明を実施し、希望者の申請に基づいて利用券を交付します。本人が支援を必要とする時、利用券を用いて産後ケア施設を利用してもらいます。出産後の母親の心身の回復と、育児不安の軽減・解消を目的として実施していますが、利用者のアンケート結果から非常に満足度が高い評価を得ました。

１９　実費徴収に係る補足給付を行う事業

事業内容

実費徴収に係る補足給付を行う事業は、保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用または行事の参加に要する費用等を助成する事業です。

【実施状況】

令和元年 10 月から開始した「幼児教育・保育の無償化」により、新制度未移行園に通園する低所得世帯に対し、副食費の補助を行っています。

令和７年度は年間延べ 17 人の園児に対し、補足給付を行いました。

今後も継続的な実施を行います。

２０　多様な事業者の参入促進・能力活用事業

事業内容

多様な事業者の参入促進・能力活用事業は、多様な事業者の新規参入を支援するほか、特別な支援が必要な子どもを受け入れる認定こども園の設置者に対して、必要な費用の一部を補助する事業です。

【実施状況】

令和７年度は、未実施でした。
引き続き、新規参入の必要性を見極めながら、検討していきます。